

› LIXILにおける 情報分析基盤構築について

株式会社 LIXIL

情報システム本部 Information Excellence部

菖蒲 真希

2017年10月10日

LIXILについて



2011年4月1日

5社統合

LIVING × LIFE
住 生活

主な商品

- 住宅用サッシ、玄関ドア、引戸
- カーポート、門扉、フェンス、ベランダ、バルコニー
- バスルーム、洗面化粧台、衛生陶器
- キッチンユニット
- インテリア建材
- タイル建材、外装建材
- ビル用カーテンウォール

◆ 売上高 1兆7,864億円 (2017年3月期)
◆ 事業利益 883億円 (2017年3月期)

情報分析基盤構築の背景

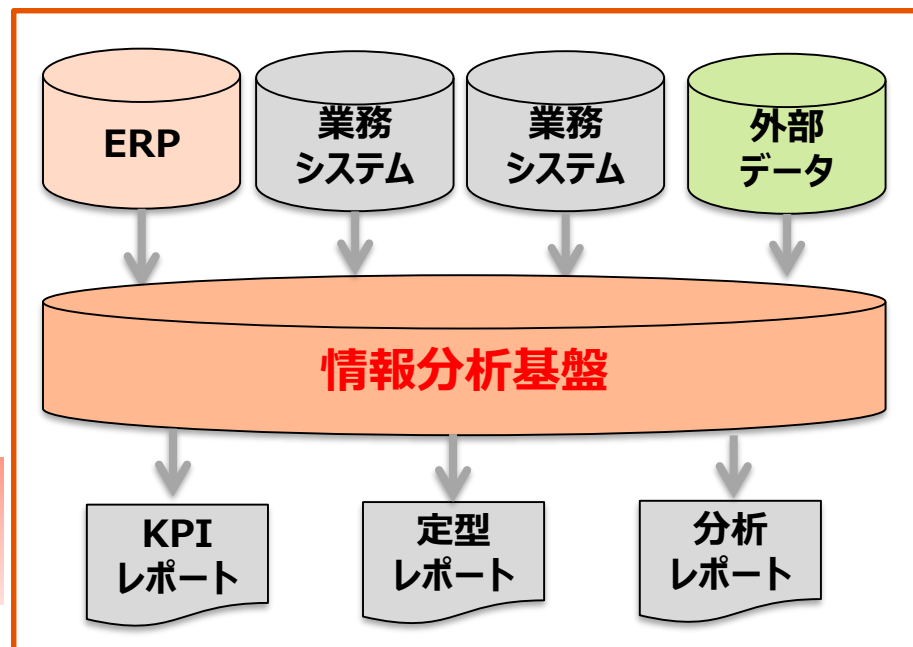
- 【課題】 ■ システム統合中…… 現状は、重要な情報が各システム内に散在
- 全社視点で分析を正確に実現できていない
 - ・ 担当者の観点でのレポート作成 データの出元、集計式が不明瞭
 - ・ 属人的な処理、シャドーIT化 Excelマクロ、Access …
 - 同じような分析を複数の部門で実施



「情報分析基盤」の構築

各業務システムよりデータを抽出し、
各種KPIを含む提携レポートを提供するとともに
高度なデータ解析を可能とする基盤

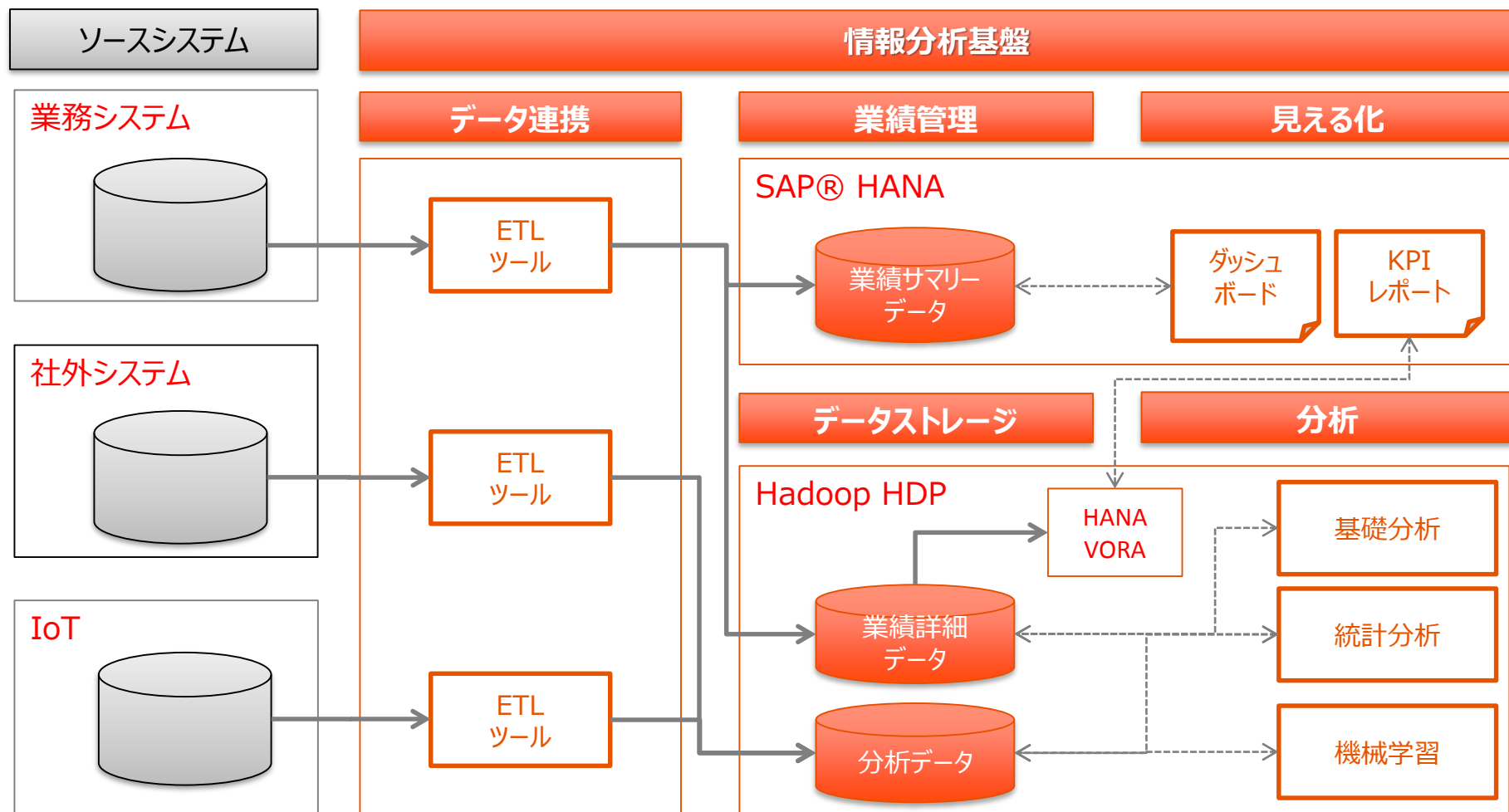
「One True Number」の実現



情報分析基盤 アーキテクチャ

2つのシステム組み合わせ、双方の利点を活かすことで、大容量データを効率的かつ安価に処理できる基盤を構築する。

- Hadoop HDP: 統計分析・機械学習などの高度な分析を、拡張性が高く、低コストに実現
- SAP HANA®: 超高速処理で業績管理を実現



情報分析基盤を利用した システム構築に着手

- **グローバル・マネジメント・レポート**
グローバルで分散する業績データを戦略に沿った連結ベースの業績評価基準に自動集約しレポートニングする
- **顧客情報の一元化**
旧個社からの各システムに分散してる顧客情報を 名寄せし一元化、顧客動向分析やマーケティング活動分析に活用
- **営業活動分析**
営業マンが作成する営業活動レポートを自動化し集約、営業マンの特性分析等に活用

LIXIL

Link to Good Living